

電照栽培に適する8月咲きの小ギク品種

福島県農業試験場 いわき支場
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

花き－キク－生理・生態
分類コード 05-08-04000000

2 担当者

矢吹隆夫・諏訪理恵子

3 要 旨

本県における小ギク栽培は、8月お盆、9月彼岸出しが主力となっており、適期出荷を目的とした電照栽培が一部導入されている。しかし、電照に対する品種の開花特性が不明であり、開花時期が安定しないことが問題となっている。

そこで、8月咲き主要品種に対する電照時間の違いと開花時期との関係について検討し、以下の成果を得た。

- (1) 「小鳩」、「むつみ」、「紅笹」は、電照時間が長くなるにしたがって開花時期が遅れる。
- (2) 「花の舞」、「はなぶさ」は、電照時間が3時間以上であれば開花時期が大幅に遅れる。
- (3) 「小窓」、「玉手箱」は、電照時間が4時間以上になると開花時期が遅れるが、その程度は小さい。また、「すばる」も電照時間が3時間以上で開花時期が遅れるがその程度は小さい。
- (4) 「とび丸」は、電照による開花時期の変化がない。

以上のことから、「小鳩」、「むつみ」、「紅笹」、「花の舞」、「はなぶさ」は、電照による開花抑制効果が大きい品種であり、「小窓」、「玉手箱」、「すばる」は、電照による開花抑制効果が小さい品種であるがいずれも電照栽培に適する。なお、「とび丸」は電照栽培に適さない品種である。

4 その他の資料等

なし